

単元名 世界はうつくしいと

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。  
(2) 詩を読み、疑問に感じたり、考えたりしたことなどを伝え合うことができる。  
(3) 進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとする。

### 標準的な展開例

12210101\_001

【準備等】国語指導CD、再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 この詩に込められた筆者の思いを読み取り、表現の特徴を生かして朗読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文を通読する。</li> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> </ul> <p>★筆者の思いを捉え、表現の特徴を生かして朗読しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 詩を読み深める。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分にとっての「うつくしいもの」を交流し合う。</li> <li>○ 詩の特徴を生かして朗読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師の範読か、国語指導CDを利用してもよい</li> <li>・ 詩を読んで感じた素朴な疑問を質問の形にして書き出させる。</li> <li>・ 隣同士で質問し合い、互いに相手の質問について考えたことを伝えさせる。それを踏まえて、自分なりの答えを考えさせる。</li> <li>・ 言葉、文字の使い方、リズム、表現技法などに着目させるとよい。</li> </ul> <p>【評】詩に用いられている語句や表現から筆者の思いを読み取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な体験に引きつけてイメージさせるとよい。</li> <li>・ 小グループやペアで行うことで、全員が朗読を発表できるようにする。</li> <li>・ 工夫した朗読ができた生徒は、全体の前で発表させる。</li> <li>・ 最初に読んだときと比べて、詩に対する印象はどのように変わったか、自分の言葉でまとめさせる。</li> </ul> <p>【評】読み取ったことを生かして、工夫して朗読する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

### 【 備 考 】

文学作品は表現者の思いや感動を言葉によって表現したものだが、特に詩は、それらが他に置き換えることのできない言葉によって紡がれた言語作品である。それだけに一語一語の果たす役割は大きい。「世界はうつくしいと」は、「うつくしいものをうつくしいと言おう」と、身の回りにある「うつくしいもの」を率直に、力強く表現した詩である。このような詩を、一語一語に着目して読み取らせたい。また、互いがうつくしいと思うものを話し合うことで、日常にあるうつくしさを見つけさせたい。